

# 平成30年度の年間の活動

## 1. 活動方針

イベント活動、自治連合会への参加と共同運営、景観協定の申請受付・協議、アドプト活動を継続する。一方、イベントへの参加促進方法や子ども会の運営方法の検討、集会所やホームページの有効活用、街区内の交通安全や防犯の促進、植栽管理・カーシェアの運営方法・景観協定・各担当の活動内容の見直しなども行う。

## 2. 具体的な活動内容

### 1) 季節ごとのコミュニティイベント

イベントを通じ、まち全体の交流を図る。

春：校区内にあるカフェの店長に来てもらいコーヒーのドリップ講座

コーヒーの試飲等で住民同士の交流

夏：地域の夏祭りへ出展し、全員参加での事前準備、当日の店番等で一体感を醸成

秋：かまどベンチや仮説トイレなどの併設設備を利用し、防災意識の再確認

校区内の医院に来てもらいインフルエンザの予防接種を行い住民の健康増進

冬：小さな子供から大人まで楽しめるスポーツフェスを開催し健康増進及び

住民同士の交流を深める場を提供

### 2) 自治連合会行事への積極参加

地域全体のサマー・ウィンタークリーン、花火大会での周辺道路の交通整理、文化作品展、クリスマスイベント、ウォーキング大会、防災訓練など地域が主催する行事への積極参加。

### 3) 景観協定の理解度向上

植栽管理や物置設置ルール、カーポート新設などの説明会を随時実施。

### 4) アドプト活動

毎月第3日曜日に各班持ち回りでまち全体の清掃活動を実施。

### 5) 子ども会

季節ごとのイベントを通じて、子育て世代の交流を深める。

春：里山を利用したウォークラリー

夏：水遊び

秋：乳幼児参加型のおしゃべり広場

冬：マラソン大会

# 受賞を契機に新たに取り組んでいること

## 1. まち全体の交流拡大に向けた各種イベントへの参加促進

### 1) 役員会傍聴による自治会活動の周知

歴代の役員、現役役員から意見を招集したところ「役員を経験して初めてまち全体で交流を深めることの大切さ、イベントに参加することの楽しさを理解できた」との意見が多数あり、役員会主導の自治会活動をもっと知ってもらうことがイベント参加促進につながるとの考えに至った。

そこで、持ち回り順の関係上、役員を担当するのが数年先になるメンバーを毎月数名ずつ指名し、役員会を傍聴してもらうことで活動への理解と積極的なイベント参加を促すことに取り組んでいる。

その結果、歴代の役員がイベント成功のために熟慮し、時間を割いていることに理解が得られ、イベントへの参加戸数の増加につながった。

2年目も同様に行っているが関わってくれる方とくれない方の2極化している。今後は関わってくれる方をどう増やすかが課題。

### 2) イベント開催の案内を工夫

まち全体への連絡事項やイベント開催の案内などは、ホームページのお知らせ掲示板を活用していた。しかしながら、入居開始から5年目を迎え、ホームページを閲覧しない人も多くなってきており、情報共有手段の再検討が必要となった。

そこで、ホームページ閲覧方法の再レクチャー、ブックマークへの登録、お知らせ掲示板へ新規書き込み時のメール通知設定及びアドレス登録、回覧板や案内状ポスティングに取組み、イベント開催情報が全戸に行き渡るよう工夫している。

### 3) 役員の仕事分担

入居開始から6年を迎え、少しずつ役員の仕事量が増えてきている状況の中、一部役員の仕事量が多くなってきており再検討する事となった。

今後、理事会を運営していくにあたり、やりたく無いという事が出てくることを考慮し、理事長・自治会長の仕事を比較的役割が少ない担当へ分担。今後も必要に応じて検討していく事となった。

### 4) 交流会の開催

家に比較的にない事が多い男性を中心に「おっさん交流会」のコミュニティを作成。定期的に集まり食事会を行う事で住民同士の交流や顔を覚える事ができている。結果、街の防犯アップにも繋がっている。

## 調査検討費の使途

- コミュニティイベント及び自治連合会、子ども会行事での準備費、備品、当日の飲食代

実施項目
【春イベント】 コーヒードリップ講座講師代、絵画展での備品（絵の具、クレパス、画用紙、額など）、 BBQ食材、飲料など
【夏イベント】 夏祭りでの店番担当への飲料
【秋イベント】 炊き出し用の食材、BBQ食材、飲料、防災セミナー外部講師代
【冬イベント】 スポーツフェスでの食材、飲料代、備品
【アドプト活動】 活動メンバーへの飲料
【子ども会】 各イベントでの食材、飲料
【役員会】 毎月の役員会での飲料、定期的な懇親会

## 近い将来取り組まなければならない課題

- ・カーシェアリングの運用再検討

入居開始から5年目を迎え、カーシェアリングを活用している人が限定されてきており、使用頻度も減少傾向にある。そのため、このままでは年間維持費80万円を賄うことが出来なくなってしまうため、今後、料金の見直しや利用手続きの簡素化だけでなく廃止も視野に入れた検討を実施する。

臨時総会を行い、廃止が決定。組合員に売却を行った。

- ・自治連合会との関わりを強化

まち全体の交流は年々深まっているが、校区自治連合会との関わりはまだ希薄な部分がある。来年度以降は、自治連合会内にある各部会（体育部、文化部、青少年部など）へ役員から代表者を立て、自治連合会行事の把握と校区内最新情報の共有、行事への参加促進を行う。

- ・区域内の交通事故の未然防止

住民の交通安全意識は高く区域内での車の徐行は徹底されている。しかしながら、宅急便業者や住民の友人など外部からの訪問者に対する徹底が不十分な状態であり、区域内を徐行しない場面が散見される。そこで、景観を損なわないことに配慮しつつ、標識新設や道路上への明示による注意喚起などで、区域内での交通事故を未然に防止し、安心して暮らせるまちづくりを進める。

- ・街区の防犯

街区内で始めて車の盗難・住居の侵入が発生した。各入口に防犯カメラが設置されているが、設備の性能の低さ（画素数の低さ）等から特定には至らず。そこで、防犯カメラの性能向上を行う事とした。又、コラボによる防犯意識の再確認、住民同士の挨拶等の交流により安全な街にする。